

必ず用意しておきたい！ 3つの「ない」への備え

台風上陸・通過時で一番心配なのは、ライフラインが途絶えること。万全の状態を迎えるために、最も大切な備蓄を「大阪北区ジシン本」サポーターの皆さんに教えてもらいましょう。



電気

がつかない！
に備える



この人に聞きました！
まきこさん

台風や豪雨の時は、暴風で街路樹が倒れて電線が切れたり、マンション地下設備が浸水するなどの原因で停電する可能性があります。停電が発生すると電気はもちろん、マンションのエレベーター、水も止まり、トイレも使えません。電気がないと本当に困りますね。

備えるもの



水・食料

がない！
に備える



この人に聞きました！
あゆみさん

台風や豪雨、地震など、災害に対する備蓄は基本的にどれも同じ。長期間の在宅避難が続いても、安心して過ごせるように準備しておくことが大切です。食料などは普段からローリングストック法で無理なく備えておくと、いざという時に慌てずにすみますよ。

備えるもの



トイレ

が使えない！
に備える

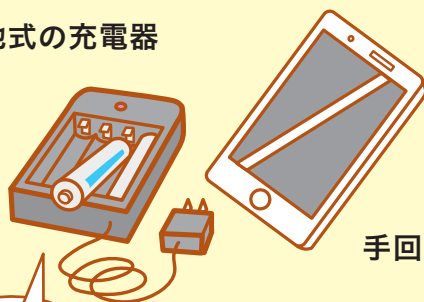


この人に聞きました！
信恵さん

マンションでは、停電すると断水になりトイレが流せなくなる可能性があります。また台風による大雨が下水道管に流れ込むと、低層階では汚水が逆流してあふれる危険性も。トイレが使えない場合に備え、非常用トイレを用意しておきましょう。

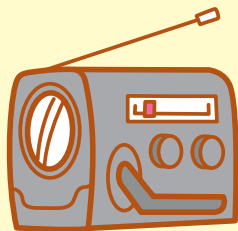
備えるもの

乾電池式の充電器



携帯電話の充電ができなくなると困る！

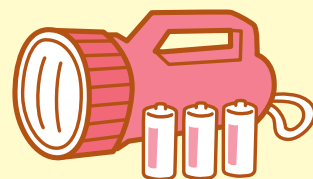
手回し式充電器付きの防災ラジオ



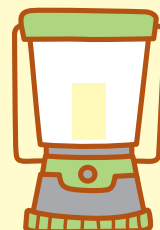
停電中はラジオで情報をチェックしよう！

夜になると当然真っ暗！トイレに行く時などに必要！

懐中電灯



LEDランタン



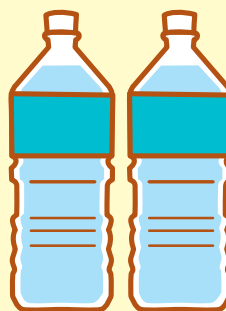
缶詰、レトルト食品、インスタント食品

冷凍ペットボトルのすすめ

水を入れたペットボトルを冷凍しておきましょう。停電時に冷蔵庫にうつせば保冷剤代わりに庫内の冷たい状態が保てます。溶ければ飲んで夏場の熱中症対策になり一石二鳥です。

いつも食べ慣れている商品を保管。不安がる子どもにはお菓子などで落ち着かせて！

お菓子



水

飲料・調理用の水は1人1日3ℓが目安。家族4人の7日分は84ℓで、2ℓが42本も必要！

オール電化のご家庭ならカセットコンロを持っておきましょう！



用意するもの

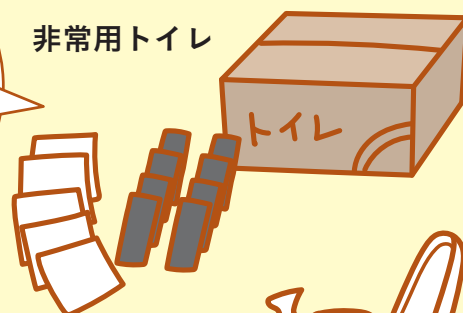
- 45ℓのごみ袋
- 吸収するもの（キッチンペーパー、ねこ砂、オムツ、生理用ナプキン、ペットシーツなど）

簡易トイレをつくろう

45ℓの黒いごみ袋1枚を便座を上げてかぶせ、もう1枚を便座の上からかぶせます。吸収するものに消臭剤をかけてごみ袋の中に敷き詰めましょう。

1日に何回も使用することを考えて多めにストック！

非常用トイレ



トイレがゴボゴボしたら、「水のう」でふさいで逆流対策を！



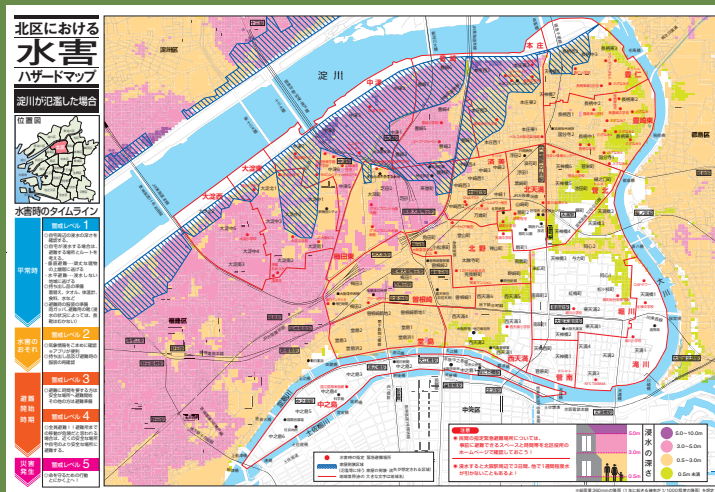
今から できる 防災

1

ハザードマップ を確認しよう

北区を襲う大規模な水害（淀川氾濫、内水氾濫、高潮、津波）の違いを理解しておきましょう。その上で、北区のほぼ全域が浸水する淀川氾濫の浸水想定を巻末のハザードマップで確認し、自分の住む場所がどの程度浸水するのか理解しておきましょう。

（和彦さん）



アウトドアグッズで楽しく防災！

キャンプで使用できるグッズは防災グッズとしても大活躍。LEDランタンやヘッドライト、折りたたみ式コンロなど、防災のためだけではなくアウトドアでも使用するため、楽しく備えることができます。



100均ショップでお役立ちグッズを発見！

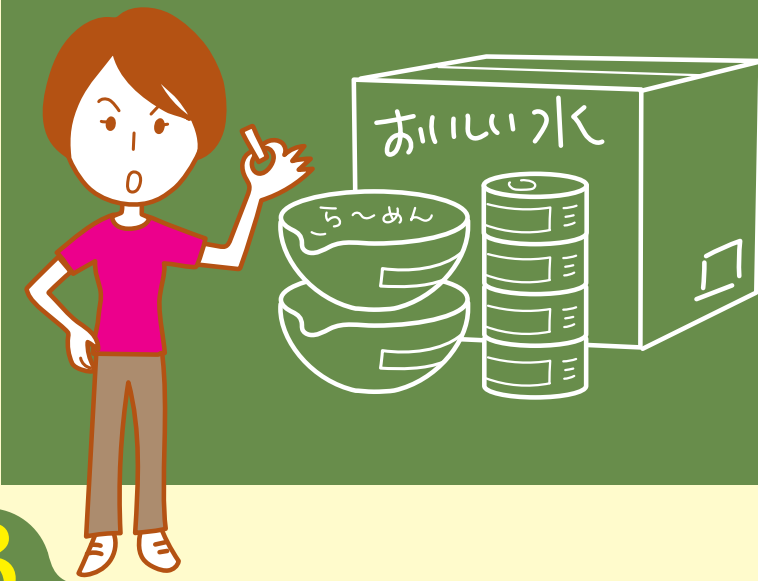
防災専用のグッズは価格が高くてハードルが高い…。それなら100円均一ショップで防災グッズを探してみتهいかが？日用品から食品まで多彩にあるので、誰でも気軽に買い揃えられますよ。



2

ローリング ストック法を実践！

賞味期限切れ、味が好みでないなどを防ぐために、防災食は普段から消費できる物を選び、その都度買い足す「ローリングストック」がオススメです。（直子さん）



3

マンション特有の 課題を知っておこう

マンションでは、停電によるトラブルだけでなく、「バルコニーの排水溝が詰まって室内に浸水」「地下駐車場などに大量の雨水が流れ込み、車両が水没」などの問題が発生する恐れもあります。マンションならではの課題への対策を、居住者同士で事前に確認しておきましょう。（啓正さん）



4

正しい情報を キャッチしよう

気象情報をチェックする習慣を身に付けておくと、台風のほか大雨情報の正しい見方がわかり、日常生活でも役立ちます。台風直前はテレビやラジオからの情報を常に確認し、適切な行動をとりましょう。

「大阪市防災アプリ」「NHKニュース・防災アプリ」などのアプリをスマートフォンにダウンロードしておくとう便利です。（寛文さん）



■大阪市防災アプリ



■NHKニュース・防災アプリ